

10 月 20 日 : VN 指数は続落。出来高が低迷し、投資家心理は悪化。

木曜日のベトナム市場は続落。株価が割安な水準にあるにもかかわらず、投資家は買い控えており、出来高は引き続き低調だった。

ホーチミン市場の VN 指数は前営業日比 1.62 ポイント (0.15%) 安の 1,058.45 ポイントで取引を終えた。

ホーチミン市場の騰落数は、値上がりが 131 銘柄、値下がりが 287 銘柄だった。

出来高はここ 2 年間の最低水準を記録。売買高は 3 億 9,830 万株、売買代金は 8 兆 4,000 億ドン (3 億 4,260 万米ドル) となった。

「株価が安値圏にあるものの、投資家はマーケットに対して慎重な姿勢を崩しておらず、投資資金が株式市場に入ってきていない」 (金融情報サイト cafef.vn)

VN30 指数は前営業日比 0.39 ポイント (0.04%) 安の 1,053.26 ポイントで取引を終えた。同指数採用銘柄のうち、14 銘柄が上昇、14 銘柄が下落、2 銘柄は変わらずだった。

銀行株はまちまちの値動きとなった。個別ではテクコムバンク (TCB) -2.38%、サコムバンク (STB) -0.87%、軍隊商業銀行 (MBB) -2.00%、ベトナム国際銀行 (VIB) -2.21%、サイゴンハノイ銀行 (SHB) -2.69%、リエンベトポストバンク (LPB) -1.38% が下落。その一方でアジアコマーシャル銀行 (ACB) +1.18%、ヴィエティンバンク (CTG) +0.22%、TP バンク (TPB) +0.24% が上昇した。

一部の大型株は引き続き堅調な値動きとなった。FPT グループ (FPT) は 3% 上昇し、VN30 指数の中で上昇率トップとなった。

FPT グループは前日に 2022 年第 3 四半期の業績を発表しており、売上高が前年同期比 24.1% 増、税引前当期純利益が同 23.8% 増だった。また売上高、税引前当期純利益は第 3 四半期までにそれぞれ年間目標の 73%、74.4% を達成している。

「出来高は引き続き低調だった。1,050 ポイント付近で投資家の底値買いを受けて、VN 指数は一時上昇した。しかしその後 1,060～1,070 ポイントの上値抵抗帯に入ると、再び上値の重い展開となった」 (BIDV 証券)

外国人投資家については、ホーチミン市場で売り越し、ハノイ市場で買い越した。ホーチミン市場では 822 億 2,000 万ドンが売り越され、主な売り越し銘柄にホアファット (HPG) 1,852 億 5,000 万ドン、SSI 証券 (SSI) 360 億 1,000 万ドン、ペトロベトナムガス (GAS) 282 億 6,000 万ドンが含まれた。一方でハノイ市場では 214 億 4,000 万ドンが買い越された。

セクター別では、全 25 セクターのうち 17 セクターが下落した。保険、卸売、建設、物流、農業、不動産、小売、水産加工品、建設資材、証券、ゴム製品、プラスチック、化学製品が上昇した一方、銀行、石油ガス、IT、食品飲料、ヘルスケアが下落した。

ハノイ市場の HNX 指数も続落し、前営業日比 2.02 ポイント (0.89%) 安の 225.88 ポイントで取引を終えた。

売買高は 3,230 万株以上、売買代金は 6,156 億ドンとなった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。